

ウ ガ ツ ル ズ

ひとりあそび番外編

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

■奥沢チエリ

ある日の自慰のようす

ねー
にーやん

ねてるのー？

週末の夜更け。
いつもこちらの都合はお構いなしに
犯してくる兄、彼女が「したい」ときは
決まってこうである。

■年の離れた兄
(水泳部顧問)

兄の部屋に忍び込む。

カアアア...

成年向け漫画雑誌を
パラパラ捲り
性的嗜好チェック。

普段のセックスより
遥かに過激な行為を
目の当たりにし
衝撃を受ける。

兄のベッド。兄のタオルケット。
兄の枕。兄の臭いを鼻腔に満たすと
予め性感が高まっていたことも手伝い
あっという間に上気していく。

自然と股間に手が伸びる。
むずむずする。まさぐる。

兄の匂いが染み付いた枕に
股間を押し付け始める。

自重で陰核を強く圧迫して
大好きな兄のことで頭を
いっぱいにする。

キシ...

キシ...

ニーヤン...
ニーヤン...

あ...♡

ん...♡

あ...♡

あ♡

あ...♡

あは...♡

多幸感に温かく包まれた
少女はより強い刺激を求め
腰の動きを強めていく。

ギジジ

ギジジ

ギジジ

ん...♡

い...♡

あ...♡

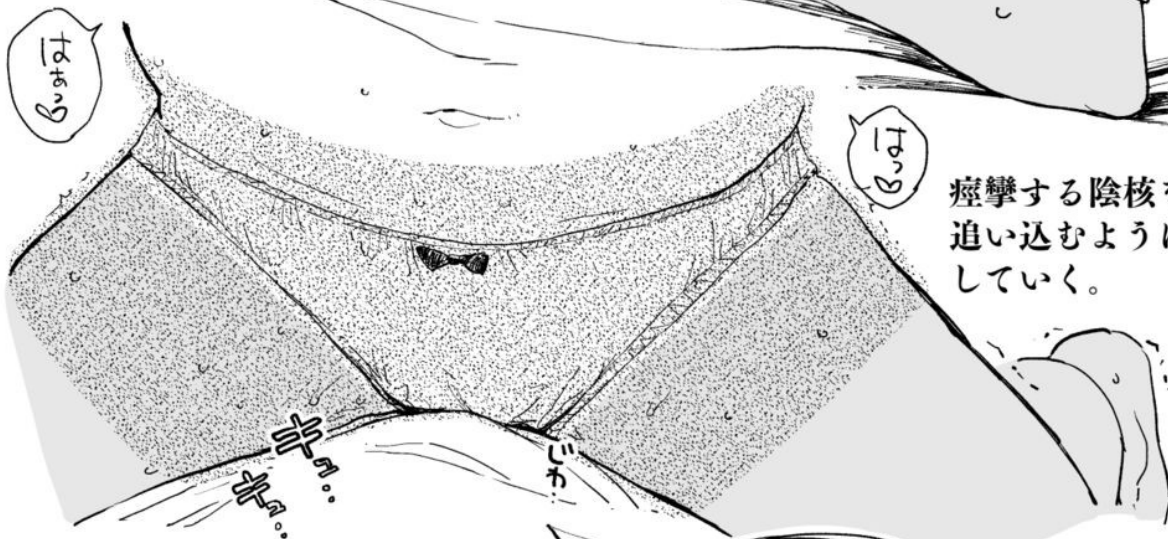
は...♡

発達途上の張った乳頭は
爪先で軽く引っ掻いただけで快感が頭を突き抜ける。

股間への刺激を枕に任せ
空けた両手で乳首をこねくり回して
遊ぶうち少女は達した。



痙攣する陰核をさらに
追い込むように強く圧迫
していく。



分泌された愛液がわずかに浸潤し
意図せず枕に匂いが
擦り込まれる。

絶頂による疲労で少女は
そのまま眠りに落ちる。



■等々力カナエ
ある日の自慰のようす

友人・チエリから
顧問・奥沢のペニスサイズを
聞き出し同じサイズの
ディルドーを購入した。

「セックス」への
期待と興奮ですっかり
荒くなる呼吸。



ネット通販(代引き)で
密かに手に入れたアダルトグッズ。

ローションをたっぷり塗った張型を
締まった膣に捻じ込んでいく……
想像を超える太さによる痛み、快感の
混ざった複雑な刺激に耐えられず
たまらず下品な嬌声をあげてしまう。



想い人に乱暴に犯される想像をしながら激しく抜き差しする。膣がめくり上がり焼けるような感覚に襲われつつもそれ以上の快感のため手を止めることができない。

断続的に子宮口を突きあげる
うちに下腹部の奥から
熱い波がこみ上げてくる。

速まる抽挿。滴る脂汗。
絶頂が近い。

膣圧によりズルンツと
抜け落ちるデイルド。

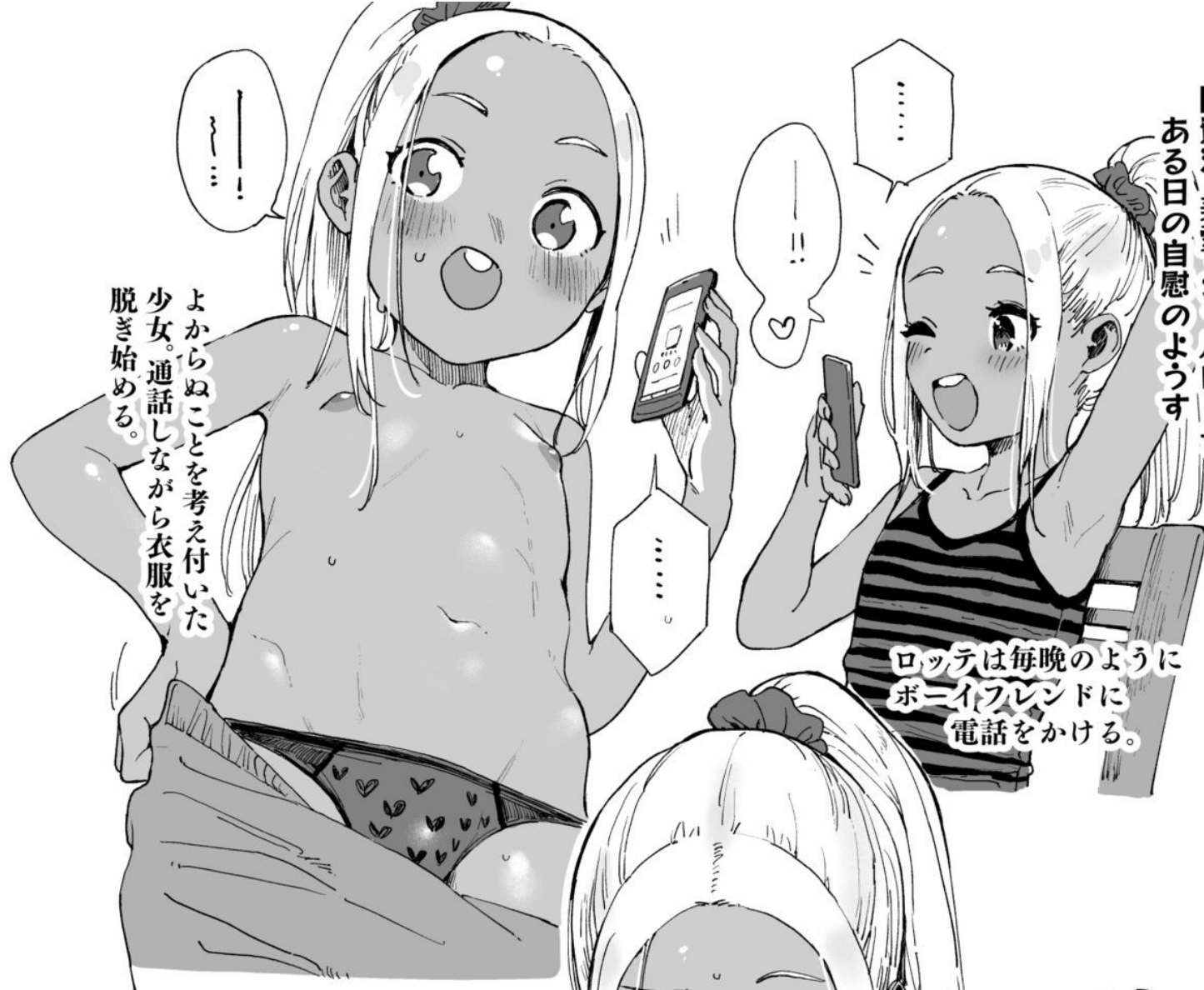
同時に凄まじい勢いで
大量の潮が吹き出る。

指では得られない壮絶な快楽で
脳の回路が焼き切れるような
感覚と余韻に包まれる。

おびただしい量の液体が
シーツを汚し満足半分
後悔半分で複雑な胸中の
少女。

■鷺沼・美愛・シャルロット

ある日の自慰のようす



よからぬことを考え付いた少女。通話しながら衣服を脱ぎ始める。

ロットは毎晩のようにボーイフレンドに電話をかける。

「気付かれずにイケたら勝ち」

通話しながらの自慰という変態行為に逡巡の気配もない。



股間の敏感な部分を勉強機の角にあてがう。他愛ない雑談を振る一方で机の角を局部に食い込ませ、少しずつ体重をかけていく。

「ねー…わたしのこと好き？」
甘えた声でボーイフレンドに
迫る。

「な…何…急に」
シャイな彼にはいささか
酷な問いかけだ。

暴食気味の少女は
好きな男子の話し声すら
「おかず」にしてしまう。

「ねー…っ…好き？」
「…嫌いな電話なんてしないし…」
「そー…じゃなくてっ」

「ちゃんと好きって…言って…はやくっ」
「頂点ギリギリで踏みとどまりながら」
「ひとつの答えを待つ」
「……ん」



「ん…すき…だよ」

瞬間、クリトリスが爆ぜる。
だらしなく開いた口から、
涎が滴り机に湖を形成する。

ぐくぐく

びしょびしょ

びしょ

あはは

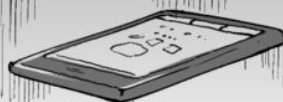
やった♡

びしょ

言わせたった

えへへ

いっ♡



翌日
登校中。

電話しながら
その…変なこと
しないでほしい…

おやん!!

バレてた。

絶頂後の敏感な身体、
ともすれば上擦りそうな声を
抑えながら机にかけた体重を
徐々に戻していく。
だいじょうぶ。バレてない。

■綱島マコト(と三橋リュウト
ある日の自慰のようす



生まれて初めて
想いが通じ合い
生まれて初めて
身体を重ねた相手。

戯れに撮った
ツーショット画像を
寝る前に何の気なしに
眺めていると自ずと
心拍が高まっていく。



ひたすら性的快感を追い求める
機械と化す。

「セックスしたい
一度頭をよぎれば最後、
我慢できず性器を
触りだしてしまう。」



同級生の陰茎の感触を思い浮かべながら
夢中で膣壁を擦りあげる。初恋の人の名を何度も呟く。

みっし...

みっし...

分泌液でシートを汚さないよう
タオルを敷いておけば気にせず
膣ほじりに集中できる。

同級生の膣壁の感触を
思い浮かべながら
夢中で陰茎を擦りあげる。
初恋の人の名を何度も呟く。

みっし...

みっし...

みっし...

みっし...

溢れ出る先走りが
余った皮と亀頭の
間に溜まり
クチクチと
淫猥な音を
立て始める。

みっし...

みっし...

同日同時刻

互いをオナペットにして手淫に耽る二人。



完全に性交欲に支配される。

〇たくたに蕩けた雌穴から
沸き上がる熱気と雌の臭いで
部屋が満たされていく。



指の激しい抽挿で白く泡立った愛液が
次々と溢れタオルに染みを広げていく。
絶頂が近いことを物語る。

猿のように夢中で
ペニスを扱き続け
気が付けば
限界がすぐそこ。

精液を受け止めるため
慌ててティッシュに
手を伸ばす。



ほぼ同時刻、
一組の男女が
絶頂。

間に合わず
床に青臭い種汁が
ばら撒かれる。

用意したタオルでは
飛び出る体液を
受け止めきれず
シーツに少量の
染みを残してしまう。

翌日。

気恥ずかしさから
互いの顔をまともに
見ることが出来ない
のであった。



ウェットガールズ ひとりあそび番外編

- サークル サシミノワイフ
- 描いた人 しでん
- 発行日 2021.12.31
- 印刷所 ねこのしっぽ
- pixiv 134033
- twitter shidenchan
- e-mail shidenchan@outlook.com

18歳未満の閲覧はだめ
無断複製・配布・アップロードはだめ



きのう
ひとりえっちした

きのう
ひとりえっちした

きのう
ひとりえっちした

きのう
ひとりえっちした

ウエッグルズ

ひとりあそび番外編